

令和5年7月31日

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

令和5年度 首都直下地震防災訓練を実施します。

～災害発生時の円滑な行動を目指して～

首都直下地震発生時における円滑な災害対応を目的として、実働による被災状況調査、緊急確保航路啓開、緊急支援物資の海上輸送等の訓練を実施します。

1. 訓練日時：令和5年8月3日（木）13：00～15：15頃
2. 場 所：東扇島地区基幹的広域防災拠点(川崎市川崎区東扇島東公園)
3. 参 加 者：関東地方整備局、関東運輸局、第三管区海上保安本部(川崎海上保安署)、
(予定) 川崎市(危機管理本部、健康福祉局、港湾局、上下水道局、病院局、消防局)、
神奈川県警(川崎臨港警察署)、海上自衛隊(横須賀地方総監部)、東京電力
パワーグリッド(株)川崎支社、KDDI(株)、日立建機日本(株)関東支社、
(一社)日本埋立浚渫協会関東支部、川崎港運協会、神奈川倉庫協会、(一社)日
本自動車連盟神奈川支部、(一社)海洋調査協会、(一社)日本マリーナ・ビーチ協
会、防災エキスパート
4. 訓練内容：次頁をご覧ください。

※取材を希望される場合は、8月2日（水）12時までに、以下のとおりメールにてご連絡ください。なお、本訓練は、天候等により訓練内容の変更や延期（8月9日）又は中止となる場合がございますので、予めご了承ください。

件名：【取材希望：東扇島会場】首都直下地震防災訓練

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）、取材方法

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ 川崎記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部 首都圏臨海防災センター

電話：044-281-2330（直通） / メール：info-i83ab@mlit.go.jp

センター長 練尾 伸一郎（ねりお しんいちろう）

課長補佐 豊田 勉（とよだ つとむ）

令和 5 年度 首都直下地震防災訓練

1. 訓練会場 / 取材受付

○東扇島会場 : 東扇島地区基幹的広域防災拠点
川崎市川崎区東扇島東公園
[取材受付 12:40より]

2. 訓練概要

<東扇島会場>

実動訓練 13:00～15:15

『東扇島地区基幹的広域防災拠点』は、緊急支援物資の輸送拠点となるとともに、広域支援部隊の活動拠点となります。船舶による帰宅困難者の輸送や漂流物の回収・撤去、海底障害物探査等の訓練を行います。

[主な訓練項目]

活動要員及び作業員参集：ヘリコプター・業務艇による要員参集

帰宅困難者輸送：船舶による帰宅困難者の輸送

緊急確保航路啓開：漂流物の回収・撤去、海底障害物探査など

緊急支援物資海上輸送：船舶による緊急支援物資の海上輸送

～別紙 2 参照～

令和5年度 首都直下地震防災訓練(実働訓練)(東扇島防災拠点会場):第一部

別紙2

○実施日時:
令和5年8月3日(木) ※予備日 8月9日
13:00~14:00頃

○実施場所:
東扇島防災拠点(川崎市川崎区)

★第一部(発災~おおむね24時間)



令和5年度 首都直下地震防災訓練(実働訓練)(東扇島防災拠点会場):第二部

別紙2

○実施日時:
令和5年8月3日(木) ※予備日 8月9日
14:00~15:15頃
○実施場所:
東扇島防災拠点(川崎市川崎区)

★第二部(応急復旧完了~)

← 第一部 → 第二部テントへの移動経路

⑬物資輸送訓練(海自、川崎市上下水道局)
東扇島31号(耐震) → 川崎市

⑭応急復旧(仮設橋梁)訓練(埋立浚渫協会)

⑬水中ドローンによる被災調査(海洋調査協会)

⑮緊急確保航路啓開訓練(整備局・海保)



アクセス

- ・住所:川崎市川崎区東扇島58-15
- ・最寄りバス停:川崎駅から市営バス(川105)で「東扇島東公園前」下車徒歩5分
- ・最寄りIC:東扇島インターから車で約8分

The map shows the venue's location at the intersection of the Keihin Expressway (国道357号線) and the Sagami Expressway. Key landmarks include the '東扇島20番地バス停(高専バス停)' and the '首都圏臨海防災センター'.

新砂緊急用船着場(荒川)へ 08:00発-11:00到着予定
川崎港運協会 舟運岸壁での台船への積込